

高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業

目的

「高い技術力」「社会貢献へのモチベーション」「自由な発想力」を活かした高専生による起業が出ていることから、スタートアップ人材の育成に優位性がある高専生が自由に実践的な活動にチャレンジできる環境の整備を行う。

内容

各高専を地域のスタートアップ拠点として、アントレプレナーシップ教育に取り組む全高専に対して起業家工房（試作スペース）整備を中心としたスタートアップ人材育成のための戦略的取り組みを支援。

起 業

ロボット分野

AI・IOT
(情報分野)

素材・バイオ

価値創造
課題解決

共創

共働

共感

行政(北九州市スタート
アップ推進課)

地域企業(北九州高専技
術コンソーシアム)

地域課題(人口減少・少子高齢化)

地域課題(カーボンニュートラル)

外部コーディネイター・OB

ファシリテーター・教職員

北九州高専起業部

SDGs
(モデル都市
北九州)

コンピューター
研究部・化学
愛好会

NitKit
未来創造工房

ロボット研究
部・ロボットデ
ザイン研究会

地球環境問題
(温暖化・海
洋汚染)

トライアルチーム

異学年・異コース】全学生
アントレプレナーシップ教育

NIT KIT 未来創造工房

北九州工業高等専門学校

【地域課題の解決を通じて未来的価値を創造できる 創業人財の育成環境「Nit Kit 未来創造工房」整備事業】

テーマ

- ア) 本校における従来のアントレプレナーシップ教育の拡充及び組織化による**全学的取り組み**の推進
- イ) **学生組織を運営主体とした「NitKit未来創造工房」の設置**による、誰もが自分の発想の実装化にトライできる環境の整備
- ウ) **「異学年・異分野・学外者（行政・企業）」**が交わることによる斬新な課題解決法と**次世代的価値**の創出
- エ) 「AI・IoTの情報分野」「ロボット分野」「素材・バイオの物質化学分野」を専門とする学生組織が**相互交流**することによるイノベティブな発想の実現
- オ) 卒業生などについては、現況アンケートや来校による講演などを企画し相互
交流可能な場とするなど、**学内外の組織と連携した継続的サポート**の実施

役割

地域課題の解決・新しい価値の創造について、
学生が主体となって社会実装に向けたトライアルを行える場所としての未来創造工房。
アントレプレナーシップを醸成し、課外活動クラブがその中核を担いながら
学内外に波及させていくセンター的役割。

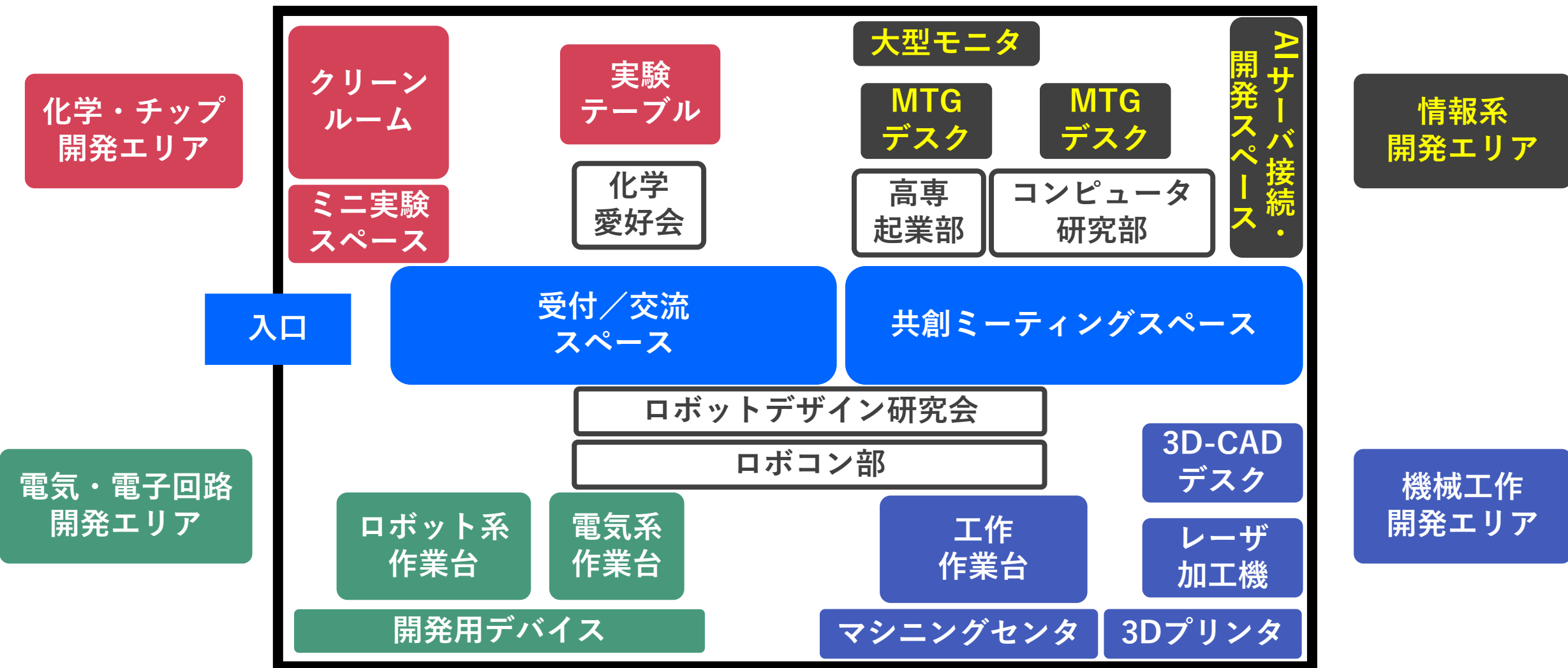
未来創造工房

学生が自由に開発できる空間

相互交流による新たな発見の誘発

目的に合わせた4つの開発エリア
情報系開発エリア／機械工作開発エリア
電気・電子回路開発エリア／化学・チップ開発エリア

未来創造工房 配置図



高専ロボコン
@あばうたあ〜ず

2023年大会
九州・沖縄地区優勝！



コンピュータ研究部



3つの班に分かれて活動中！

WEB班

普段よく見ているWebサイトの制作や逆に普段は見えないWebサイトのウラガワの作り方を学ぶ班です。



ゲーム班

日常的に私達が遊んでいるゲーム。そんなゲームの面白さを研究し、実際にどう作るかを学ぶ班です。

自分で描いたイラストを定期的な集会で班員同士で見せ合いながら技術の向上に努め、切磋琢磨する班です。



イラスト班



化学愛好会

学校のPR活動の一環として、外部での学校説明会やサイエンスイベントで化学の楽しさを知ってもらうような実験を行っています。

このような簡単な実験以外にも、科学科の先生のアドバイスの元、薬品や学校の設備を利用した様々な実験も行っています。

つかめる水

つかめる水の中に指人形を入れて、より子どもに親しんでもらえるよう工夫をしたものです



信号反応

色の変化で化学反応を感じてもらう「信号反応」という実験の写真です



活動紹介

ロボットデザイン研究会



NO. 1 鉄道模型コンテスト

毎年恒例で鉄道模型を制作しています。鉄道好きの部員が多いのでそこを中心に制作しています。鉄道模型が完成した時の達成感はこちらでしか味わえません。

実績 2019年ベストムービー賞&努力賞
2020年ベストクリエイティブ賞
2021年努力賞 2022年努力賞&ベストムービー賞

NO. 2 ロボットアイデア甲子園

ロボットアイデア甲子園はFA・ロボットシステムインタグレート協会が主催するイベントで、高校や専門学校の学生がロボット活用のアイデアを競う大会です。

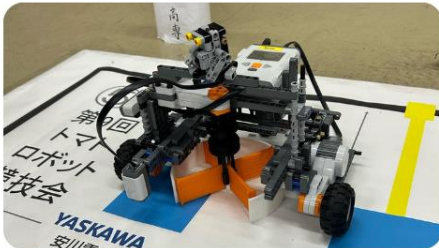
実績 2021年 2022年ともに北九州高専から全国大会出場
2022年に企業賞受賞



NO. 3 トマトロボットコンテスト

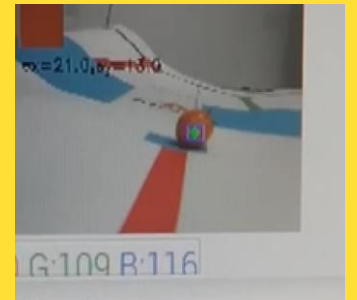
ロボットとプログラムを自分達で1から自作しコンテストに参加しています。去年の大会ではなんと準優勝を獲得しています。今年はAIを活用したロボットを制作予定

実績 2022年 アドバンス部門 準優勝



トマト回収機構

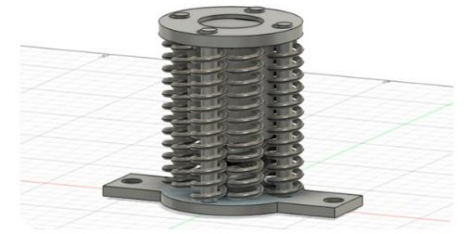
トマト追従システム



NO. 4 デザインコンペティション

3DCADを使い、モデリングをして、プリンターを使った印刷を部活動で行っています。また、3Dプリンターを使用してデザコンなどの大会にも出場しています。

実績 2021年 2022年 出場



私達の部活では、cad、プログラミング、ロボット制作、3Dプリンター、電子回路、マイコン、CG、模型制作などの自分の作りたいものを作るということを目的に活動しています。



積極的なモノづくり活動を
推進するコミュニティ



THE高専生！

動き続ける



眼強しはもろ

